



(社) 空気調和・衛生工学会 九州支部+九州大学 GCOE「新炭素資源学」共催
第二回 生活環境系シンポジウム
建築環境と健康維持・増進

共催：(社) 空気調和・衛生工学会 九州支部+九州大学 GCOE「新炭素資源学」

日時：2009年12月04日(金) 13:30～17:00

場所：九州エネルギー館 福岡市中央区薬院4丁目13番55号

世界保健機関 WHO による健康の定義は「完全な肉体的、精神的および社会福祉の状態であり、単に疾病または病弱の存在しないことではない」とされています。我々の生活環境における衛生レベルは近年になり格段に向上したと言えますが、シックハウス、ダンプハウスやハウスアレルギーをはじめ健康影響の懸念される問題は多く残っています。またこれらの問題を解決に導くと共に、同時に建築や地域環境の福利・厚生(Well-Being)を増進させる研究開発の推進が強く望まれています。特に、国土交通省住宅局では、健康維持増進を実現する住宅環境に関する研究を行うため、2007年度より「健康維持増進住宅研究委員会」を発足させ、精力的に研究を推進しています。

本シンポジウムは、生活環境の中で特に建築環境に着目し、環境と健康に関する研究開発の最新成果を紹介し、産官学の積極的な交流を図ることによって、この分野のより一層の発展を願うものです。

司会：伊藤一秀 (九州大学大学院 准教授)

- 13:30 – 13:40 挨拶ならびに趣旨説明
龍 有二 (北九州市立大学 教授, SHASE 九州支部 副支部長)
- 13:40 – 14:20 建物内の感染症とバイオテロ対策
加藤信介 (東京大学 教授)
- 14:20 – 15:00 福岡県の市町村別における入浴死の実態 (仮題)
大中忠勝 (福岡女子大学 教授)
- 15:00 – 15:10 休憩
- 15:10 – 15:50 健康で快適なこれからのすまい
田辺新一 (早稲田大学 教授)
- 15:50 – 16:30 健康とコミュニティの関わりを探る
白石靖幸 (北九州市立大学 准教授)
- 16:30 – 16:50 質疑応答
- 16:50 – 17:00 挨拶
龍 有二 (北九州市立大学 教授, SHASE 九州支部 副支部長)

お問い合わせ・お申し込みはこちらへ：(社)空気調和・衛生工学会 九州支部
810-0041 福岡県福岡市中央区薬院 2-9-29 第二プリンスビル 406 号
TEL 092-781-3066 / FAX 092-781-3029 / Email shaseKn@ryonetsu.co.jp